

News Release

Kanadevia
Technology for people and planet

カナデビア株式会社

2025 年 7 月 25 日

メタバース上の展示「Kanadevia Virtual Museum」を開設 ～ 多岐にわたる当社の製品・事業を“実物大”で見学可能に ～

カナデビア株式会社は、このほど、ごみ焼却発電プラントや風力発電設備などの製品・事業について展示する「Kanadevia Virtual Museum」を、インターネット上の仮想空間「メタバース」に開設しました。Kanadevia Virtual Museum は、クラスター株式会社（東京都品川区、加藤 直人 代表取締役 CEO、以下、クラスター）が運営する国内最大級のメタバースプラットフォーム「cluster」を利用しており、普段、なかなか見ることができない洋上風力発電やプラントの内部等を詳しく紹介します。



【メタバース上の展示イメージ】

当社の製品・事業は多岐にわたり、プラントや設備など納入したものは全国および世界各地に散在しているため、なかなか見学に行けない、全ての製品を同じタイミングで見学することが難しい、そもそも現地に行っても水中にあったり安全上の理由等で見られなかったりする部分もありました。また、当社の製品は大型構造物が大部分であり、展示会等に実物を展示することができないため製品のスケール感を説明することができないといった面で苦慮していました。

Kanadevia Virtual Museum は、これらの難点をクリアし、当社の製品・事業や取り組みを体系的に知っていただける場になります。現在完成している展示は、当社が昨年参加した国連気候変動枠組条約第 29 回締約国会議（COP29）で提示した「当社が目指す循環経済と GHG 排出ネット・ゼロを可能とする廃棄物処理システム」に関係が深い製品で、「ごみ焼却発電プラント」「メタネーション装置」「水素発生装置」「洋上風力発電設備」などの計 5 つで、今後順次、追加する計画です。利用者は、メタバース上でいつでも各施設を訪れることができ、ごみ焼却発電プラントのごみピットや炉の断面、海中にある海底設置型フラップゲート式水門など、普段は見学できない製品を“間近”に見ることができます。

Kanadevia Virtual Museum は現在、Kanadevia 先端情報技術センター「^{エイ アイ テック}A.I/TEC」（当社大阪

今回の Kanadevia Virtual Museum の開発にあたっては、2024 年 8 月頃からクラスター社とタイアップし、創業 10 周年を迎えた同社が持つ、メタバース業界トップクラスのクリエイティビティやノウハウを技術面や展示の演出面で提供していただきました。

The diagram illustrates a CCU (Carbon Capture and Utilization) system. It shows a cycle where CO₂ is captured from industrial processes (WtE facility and CO₂ recovery unit) and used to produce methane (CH₄) via a methanation unit. The methane is then stored in a gas holder and used as a fuel source for a city (都市). The city's waste is processed by a waste-to-energy (WtE) facility, which produces CO₂ that is then captured. The captured CO₂ is also used in a CO₂ recovery unit. The system is powered by renewable energy (wind and solar) and water (sea water desalination).

当社は、メタバースの利点を生かした Kanadevia Virtual Museum を通じて、当社の取り組みを多くの方に理解してもらい、今回の開設を機にメタバースのさらなる活用も模索しながら、一層の当社の認知度向上やブランドイメージの強化につなげてまいります。

(終)